

父に贈る言葉
上 村 哲彌

【四】
青年時代になつてその父にそむき、社会の捷に抗して家内の不名譽、親の嘆きの種子となる者は、幼少の時代から父親に對する反感を抑へりて來た子供であります。

一體父親は子供に對して權威の代表者として表はれる最初の人であります。丁度それは母親が愛の代表者とて表はれる最初の人であるやうに。私共は社會生활を營むに當つては、必要な權威に對して正當な敬意を表するといふ事を學ばねば社會の落伍者となる外はないのであります。人々は此の正しい權威に服する事を先づ家庭に於て父親を通して學ぶのであります。此の最初の權威の代表者たる父親がその權威の行吏を謬つならば、子供は唯だに父の對して反感を懷き、反親に對して反感を懷くのみならず、直ちに權威そのものに對して反感を懷き、反抗心をそゝられるのであります。此の反感は精神分割機制によつて一つの對象から、他の對象への移されま

すから、家庭に於ける權威の代表者たる父親への反感や反抗心は直ちに、學校に於ける權威の代表者たる教師や校長に移され、社會生活に於ける權威の表現たる公序良俗に向けられ、國家の主權者や法律等に迄及ばざるに到るのであります。

父に贈る言葉

上 村 哲彌



定價 一部登録料 1ヶ年 50銭
廣告料 五字費 十二字費 1行 金五拾銭
發行處 横濱市元町三丁目三番
日曜祭日 毎日新聞社
印 刷 所 常磐 每日新聞社
電話 六三〇番
郵便局 郵便局
日曜祭日 每日新聞社
印 刷 所 常磐 每日新聞社
電話 六三〇番
郵便局 郵便局

生活に於ける權威の象徴たる主權者や法律等に迄及ばざるに到るのであります。これは決して精神分析學者によつてなされた最近の發見ではなくして、既に三千年の昔に論語に依つて立派に説かれてゐるところであります。有子曰、其爲人也子悌而好犯上者鮮矣。子好犯上而作亂者未之有也。といふのが即ちそれであります。

【朝】トマト冷製スープ
【晩】煮合一鶏肉うす切り
【晩】油揚交ぜ御飯
【晩】生トマト コーヒー
【晩】果物
【晩】酢の物一たこ二杯酢
【晩】もつ 焼豆腐
【晩】生姜おろし

が子の服従といふ事に對して如何に親の關心が深いかといふことは最近アメリカで行はれた調査が最も雄辯にこれを物語つてゐます。即ち廿五名の兒童の行爲に就て、好ましからざる特徴やうに兩親と教師に求められたのに對して、兩親の報告は僅かに八名だけでありました。十三名ほどの兒童は、教師によつて協同の精神を缺く者として報告されましたが、兩親のこれを指摘したものは僅かに一名に過ぎなかつたのです。尙教師の側からは他の特徴に比して、感情の動搖性とか思慮の缺陷などが挙げられましたが、兩親は教師に比して兒童を不從順なりと考へることが多く、又一層嚴重な躰を必要とするとの見解を有する者が極めて多かつたのであります。教師は多數の兒童を取扱ふ關係上その横の關係を重視するの對して、兩親は我が子に對して、兩親は我が子のみかゝり合つてゐます

ヒヨケと雨具

朝	日
雨具	日除
トランク用、各種雨衣	店舗用、事務所用
作業用、馬車用シート	御座敷用、其ノ他

除日・覆雨諸・幕天山登

店商トンテ島敷
日丁六町平専門婦人科
井坂病院

◎入院隨意

平町田町

電話五五九番

初夏！
車は走る新緑の中！
微風のごとくスツート走る
三井タクシーの乗心地よさ
是非御用命の程を！

一シクタ井三
番56-8電・二平

外花柳病科 專門
本村外科醫院
電話三〇九番
平町六丁目橋際

夏の京吳服とうすもの

紋紗小紋・呂小紋・ジヨゼツト呂小紋の柄が澤山入荷致します。單帶・呂丸帶・ま用と涼しい氣分です。單帶・御座・御腰袋は三井へ御買物は下さい。

三井吳服店
電話38-284番

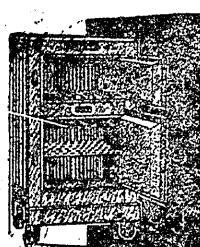
最も新らしい柄の

中形ジヨゼツト、紅梅織や流行の絞りが山と積んで店内を夏氣分に致しまして皆様を御待ちして居ります。

平會館

ウワツハツハツハ
生の旨さを知らずに
ビールを語るなんて？
例年の通り 生ビール 賣出し
キリンビール仙臺工場直送
洋食ハ
……(毎日午後三時着荷)……

株式会社 本丸ほん商店
営業所 平町三丁目一六番
振替東京二二七二四
製作所 平町新田前
電話一八二二番



僅かの氷で非常に早くよく冷える
御家庭にも御營業にも最も理想的な冷蔵器…
今年は外壁の絶縁装置を特に
完全に改良を加へましたので
より一層僅かの氷で非常に
便利になりました爲に貯藏さ
れる期間も延長されました。
価格は…精選した材料を完備した製法に依る大量
製造の爲め良品を廉價に御提供する事が出来ます。

部の構造にも一大改良を加へ
ましたので排水が良くすべて
よく冷える様になりました。
今年は外壁の絶縁装置を特に
完全に改良を加へましたので
より一層僅かの氷で非常に
便利になりました爲に貯藏さ
れる期間も延長されました。
価格は…精選した材料を完備した製法に依る大量
製造の爲め良品を廉價に御提供する事が出来ます。

(日曜火) 日三十二月六年一十和昭

(二)

兩者益々歩み寄る

平町と平雀村との合併

出石本縣總務部長斡旋

平町と平雀村の合併に關し
ては兩者の折衝が順調に進
み益々歩み寄りの姿となつ
たが平雀村現在の空氣は十
二名の村議中十名が合併に
賛成し残る二名も反対と云
ふ譯ではなく白紙の状態で

あるとの事にて日下同村は
田植の真最中である爲めは
れが終り次第正式の回答を
齎らす旨青沼町長に通知あ
つた由尙出石本縣總務部長
が斡旋の勞を執る爲め乗り
出すと云ふ

少年健兒が

警察官に感謝
柴田平署長の講話を聞いて
スカウト服でポスター貼り

平少年園には昨日の訓練
日に柴田署長を招き警察官
の任務に關しての講話あり
寝食を忘れて社會の秩序維
持に懸命の努力を傾注する
の親し味を感じ、直ちに雜
誌王野間清治氏の主唱する

「警察官感謝宣傳」の運動に
參加する事を申合せ少年俱
樂部編輯部より同園に寄贈
された宣傳ポスターを各班
に手分けして街頭に貼附し

上野原方面で野外教練を行
つた
・(一)
・(二)
平商三年生二百餘名は明二
三日佐藤配屬將校及び麻原
教官指導の下に好間村愛谷

磐中五年生二百餘名は今二
十二日大井川配屬將校其他
各係教育指導の下に好間村
上野原方面で野外教練を行
つた
・(一)
・(二)
炭礦では本廿二日の公休日
に午前八時から從員百五十
名が高久村方面に遠足運動
會を試み、夜分は一般從業
員慰安のため屋外活動寫眞
會を催すと

古河炭礦慰安 古河
磐中五年生二百餘名は今二
十二日大井川配屬將校其他
各係教育指導の下に好間村
上野原方面で野外教練を行
つた
・(一)
・(二)
炭礦では本廿二日の公休日
に午前八時から從員百五十
名が高久村方面に遠足運動
會を試み、夜分は一般從業
員慰安のため屋外活動寫眞
會を催すと

古河炭礦慰安 古河
磐中五年生二百餘名は今二
十二日大井川配屬將校其他
各係教育指導の下に好間村
上野原方面で野外教練を行
つた
・(一)
・(二)
炭礦では本廿二日の公休日
に午前八時から從員百五十
名が高久村方面に遠足運動
會を試み、夜分は一般從業
員慰安のため屋外活動寫眞
會を催すと

平少年園の後援會成立

既報去る廿日取引で初めて
五圓臺を割つた四倉繭市場
廿一日の取引は出廻り三千
枚中モホールに有志廿一名
參集石川友次郎氏を座長

平少年園の事業を翼賛し同
團の健全な育成を期さんが
爲め過般二荒伯爵を中心の
父兄會に於て後援會組織を
決議したが是が結成に關
して廿日午後七時半よりマ
ルトモホールに有志廿一名
は近く夫々委嘱する由
(會長)諸橋元三郎 (副會
長)石川友次郎 岡田千
藏

繭價が稍落付く

五圓台當分持續か

既報去る廿日取引で初めて
五圓臺を割つた四倉繭市場
廿一日の取引は出廻り三千
枚中モホールに有志廿一名
は近く夫々委嘱する由
(會長)諸橋元三郎 (副會
長)石川友次郎 岡田千
藏

磐中遠征軍凱歌を奏す

相双を軽く一蹴

磐中遠征軍凱歌を奏す

既報磐中野球部は昨日午前
九時から相中球場に開催さ
れた濱三郡中等學校磐中
校中、相中の野球大會に出
場したが攻守共にコンデー
ション頗る良く相双を軽く
一蹴優勝した、スコア一は
左の如くである

磐中遠征軍凱歌を奏す

既報磐中野球部は昨日午前
九時から相中球場に開催さ
れた濱三郡中等學校磐中
校中、相中の野球大會に出
場したが攻守共にコンデー
ション頗る良く相双を軽く
一蹴優勝した、スコア一は
左の如くである

磐中遠征軍凱歌を奏す

平商斷然大勝 平商

對平遊友の第二回野球戰は
昨日午後三時から磐中球場
で行つたが二二對一のスコ
アで亦平商大勝した

磐中遠征軍凱歌を奏す

磐中遠征軍凱歌を奏す

既報磐中野球部は昨日午前
九時から相中球場に開催さ
れた濱三郡中等學校磐中
校中、相中の野球大會に出
場したが攻守共にコンデー
ション頗る良く相双を軽く
一蹴優勝した、スコア一は
左の如くである

野外教練
磐中と平商

野外教練
磐中と平商

磐中遠征軍凱歌を奏す

不一一タクシード

磐中遠征軍凱歌を奏す

磐中遠征軍凱歌を奏す

堤方面で野外教練を行ふ

磐は突飛な高値はない模様
である

古河健康表彰 古河
炭礦健康課では同課組織以
來十一ヶ年に相當現在一千
百余名の會員を擁して益々
實績を擧げてゐるので近く
優良健康保持者の表彰を行
ふことになつたが十ヶ年八
名、九ヶ年十四名、八ヶ年八
名、二十四名の無病者あり好成
績を擧げてゐる

初繭取引
最高四圓八十錢

既報平驛内九チームの軟式
野球大會は昨二十一日午前
九時から平商、第一兩球場
で行はれたが機関庫のTK
チームが車掌所を七對二で
破り優勝旗を獲得した
不調となり昨廿一日初取引
を行つたが出廻四百五十貫
五十二錢、駒四圓六十二錢
三十七掛であると

T K 優勝
既報平驛内九チームの軟式
野球大會は昨二十一日午前
九時から平商、第一兩球場
で行はれたが機関庫のTK
チームが車掌所を七對二で
破り優勝旗を獲得した
四、五に對し三二、五で十
二の差を以て磐炭側が破れ
た

磐中遠征軍凱歌を奏す

平湯本間乗合を徹底的統制下に

競争の激甚なのに呆れ

平署が肝煎りに乗出す

平、湯本間乗合自動車は五營業者約二十臺の車輛が往復して競争益々激烈を極むるため平署では曩に之等自動車業者の競争から必然惹起する

事故防止のため營業者協定細目を造つて統制したが最近又々ガソリンカーチン等の外部的變調から統制を缺くに至り二十分間毎の發車も漸次亂れて追ひつ追はれつの現象を呈するに至り且つ

鎖を切つて

手提金庫窃取

中には百餘圓の銀貨在中

湯本町大字湯本字笠井土木

請負業赤塚兼助氏方へ昨廿

一夜七時頃から廿二日午前

五時迄の間に奥八疊の部屋に侵入鎖を以つて繋いて

署いた手提金庫(五十錢銀

貨で八十餘圓、その他合計

百餘圓在中)の鎖をたち切

つて窃取逃走した犯人ある

を家人が發見、驚愕して斯くと平署に急報したので早

速平署では各方面に手配搜

事件は過般恐喝、傷害、文書

(祖父)方に田植手傳の兩親

丸呑事件
近く公判開廷

田植の忙しさに
忘れられた幼女
江筋に轉落して溺死

上遠野村大字上遠野自動車
業馬上鐵雄方運轉助手大沼
郡玉路村生長谷川友江(三)
は昨廿一日平町三倉町片倉
製糸會社に藉を輸送して來
ての歸途運轉手馬上正雄に
頼まれて同町一町目木炭商
市原守馬商店から現金七十
餘圓、小切手卅圓計百餘圓

査を開始した
を集金したまゝ結襟上下服
を購入、巧みに變装して高
飛びすべく圖つたがその前
に一寸南町の闇の女を素見
と洒落こみうつゝを抜かし
てゐる處を廿二日午前二時
半頃平署室井刑事に難なく
逮捕された

素見中の怪しい男

各處で賊を働き廻る

湯本町字吹谷地内飲食店街
を昨廿一日夜十一時頃素見
中の舉動不審の男あるを平
署員が引致、取調べると右

電氣器具並に現金廿三圓を
搔拂つて逃走、石城地方に
高飛びして來たものと判明
餘罪ある見込で追求中

・局員夏季休養 平郵便局は局員の海水浴の便を

計る爲め來月一日より八月
中四會に局員の夏期休養所
を設けると

・局員夏季休養 平郵便局は局員の海水浴の便を

計る爲め來月一日より八月
中四會に局員の夏期休養所
を設けると

業宮崎仲次郎方に住込み去
る十五日家人の隙を窮つて

回人を求める方

△精米夫 廿四才 尋卒四

木村病院

平町新川町十九
電話一六四番

△農夫 四十才前後 月給

△出前持 廿才前後 給料

四十五圓

回職を求める方

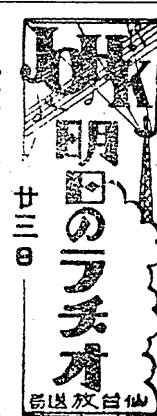
△事務員 卅三才 乙工卒

△荷上人夫 卅二才 尋

修

△トランク助手 廿五才

高卒



今晚は南の風晴
天氣豫報
廿三日
後夕立模様明日
は南の風後晏

お歌とお話「貞拾ひに
つた花子さん」今村敏子
松川昌子
前一・三〇 家庭講座「家
庭の科學」佐藤充
ツク「マダム・アンゴーの
娘」井上起久子他:桃谷
中繼
後〇・三五 國民歌謡「心
のふるさと」關種子
のふるさと
後二・〇〇 小學生尋三の
時間 お話「海と船の笑
ひ話」清徳重雄
後二・四〇 小學生尋五高
二の音樂時間「樂器の話」
増澤健美
後六・〇〇 勇士物語「加
藤清正」名古屋の城音
藤清正
後六・三〇 趣味講座「歐
洲俳句の旅」高濱虚子
後八・〇〇 通俗名曲定期
演奏「日本放送交響樂團
八桀 哥澤 哥澤芝

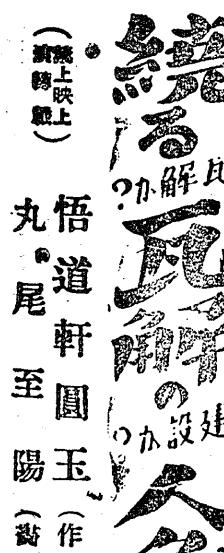
樂童話会
「三つ養ひ五つの戒め」香
坂大日本聯合青年團理事
長
衆の健康に就て「暉峻倉
敷勞働科學研究所長倉敷
市放送實演大會
後八・〇〇 俚謡 大和初
瀬町連中
後八・二〇 義太夫 艷姿
女舞衣「三勝半七酒屋の
段」大阪家旭
後八・五〇 浪花節「鹽原
孝子傳」東家樂遊 群馬
會館中繼
後八・二〇 傀謡 大和初
瀬町連中
後八・二〇 義太夫 艳姿
女舞衣「三勝半七酒屋の
段」大阪家旭
後八・五〇 浪花節「鹽原
孝子傳」東家樂遊 群馬
會館中繼
後八・二〇 義太夫 艳姿
女舞衣「三勝半七酒屋の
段」大阪家旭
後八・五〇 浪花節「鹽原
孝子傳」東家樂遊 群馬
會館中繼
後八・二〇 義太夫 艳姿
女舞衣「三勝半七酒屋の
段」大阪家旭
後八・五〇 浪花節「鹽原
孝子傳」東家樂遊 群馬
會館中繼
後六・二五 青年の時間
明日 部
後八・五五 歌謡物語「夜
船」長岡輝子
後九・三〇 時報 ニュース
明の話題 番組豫告
氣象通報

可認物便郵種三第 号十六百六千三第 日常報誌新斧開 (日曜火) 日三十二月六年一十和昭 (四)

五三 義觀の長廣舌
覺王院義觀は山岡君の説を聞いて冷笑したが、義『國內の騒亂に乘じて外國の干涉を恐れた爲め江戸城も開け渡し官軍のいふがまにくくこゝに幕府は降伏いたしたといはれるか、あなたは外國の事情を知つて居られるか、今度江戸城を明け渡したは勝安房どのが官軍の要求に應じたことであるが、官軍の大參謀の西郷はあくまでも幕府をほぼさむとの計畫を抱き居つた、それが勝安房殿の哀訴を聞き入れ總督の宮様を説いてこゝに幕府討伐の手をゆるめたは深き理由のあることぢや、これは秘中の秘密であるがあんたは知るまい、それを今いふて聞かせるであらう、よう聞きなされ、官軍の大參謀の西郷の常々いはれたには戦ほど世に面白きものはあるまいといはれたほどぢや、さすれば西郷は幕府を名實共に打ち毀し、また慶喜公をも討たむといしてゐる、それ故慶喜公が謹慎いたし居るを知りながら江戸を指て兵をすゝめた、この時に英國の公使バーカス西郷にいうわ

事は、それで勝の説にしたがうて慶喜公をたすけ、それには再び幕府が抵抗いたすことのならざるやうにと兵器を取上げ江戸城をも官軍

に取上げたことはせぬ、そこで勝の説にしたがうて慶喜公をたすけ、それには再び幕府が抵抗いたすことのならざるやうにと兵器を取上げ江戸城をも官軍



(講談映上) 悟道軒圓玉 (作)
丸尾至陽 (著)



喜公は上野大慈院にて謹慎いたし居る、官軍が敵と見通せぬとはさても迂闊なことである、當山にあつまり人々勝敗は天にまかせ官軍押しよせ來たらばこゝに引取る。

山岡君もこれにはおどろいた、もつとも英國大使のバークスが幕府を討伐せむとする官軍の行動について非難を加えたは事實です、明治時代に出來た維新に關した書物の中には薩長二藩の都合のいゝやうに書いたものが往々あるとのこと、それですから英國の公使の忠告などもあり世に知ら

忙につき寸時も下山いたすてたが義觀は宮様の御用繁を聞いて大參謀よりの厚意を聞いていたし義觀の坊主首をあげると大分殺氣立つて殺しにいたし義觀の坊主首をあげると大分殺氣立つて

わしが説いて見やう』
そこからまた使者を立てたが義觀は宮様の御用繁

不本意、一應義觀に會うて西『義觀はおそろしい坊主ぢやのう、しかし上野に兵をむけて彼等を討伐するは先生これを聞いて

たことを西郷先生につげた西『義觀はおそろしい坊主ぢやのう、しかし上野に兵をむけて彼等を討伐するは先生これを聞いて

れで居ぬとの事です。さて山岡君は官軍の總督に戻つて來て義觀の申し

てたことを西郷先生につげた西『義觀はおそろしい坊主ぢやのう、しかし上野に兵をむけて彼等を討伐するは先生これを聞いて

いつも新らしい 實用新案帽

エバー・ニュード・ストロー
支那麥編
四菱編
五〇ヨリ

お電話次第御覽に入れます
田町通り
玉屋洋品店
電話六五六番

吉田眼科醫院

平紺屋町電話六八番
醫士吉田久雄

衡量度
モノサシ
ハカリ
ス
器
計
重
温
寒
暖
計
體
温
計
秤
取
緒
垂
糸
修
繕
致
シマス
内
禁
電
話
四
〇
番
門
内
科
性
病
科
皮
膚
科

尊むべき武士道を發揮いたす、これは再三申すごとく宮様及び徳川累代の墓所警固のためである、またかゝることもあらむかと幕府においては日光の廟所に錦旗をもおさめあり、朝廷の御ためと號して徳川を討たむとする逆臣あらば宮様を奉じ錦旗をかゝげこゝに戰をいたす、貴下の事も知

診
夜
病性胃腸
内
科
性
病
科
皮
膚
科
門
專
院
醫
村松
胃腸
性病
科
間
(番〇七一町南町平)
療

東京堂のパン
平搖桿小路
一〇八番
是非御試食を!
ベーカリー
花柳病科
胃腸病科
性病科
高級パン
食パン
色々
洋生菓子
チャムバタ
ビスケット
カステラ
テラ

新鮮
美味
玉屋洋品店
電話六五六番

新發賣一文字帽!

絶体日焦げせず
雨にも丈夫な
いつも新らしい 實用新案帽

吉田久雄